

# 医学系研究をわかりやすく伝えるための手引き



医学系研究をわかりやすく伝えるプロジェクト

研究者や医療関係者、一般の人の間の研究に関する理解のギャップを減らす

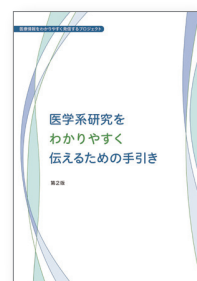
医学系研究者が研究発表等の情報を、科学的な根拠に基づき正しく発信するためのプロジェクトです。

## 1 エビデンスに基づいた手引きの作成と改訂

手引き

臨床応用を目指す医学系研究では、一般の方の協力を要することがあるため、研究内容をわかりやすく情報発信するための「ノウハウの体系化」と「人材の育成」が求められます。本プロジェクトでは、プレスリリースでの情報発信を想定した手引きを作成しています。

手引きは、研究をわかりやすく伝えるための「チェックリスト」と、医学系研究を理解するための「用語の解説」で構成されています。チェックリストは国内外の文献レビューを基に作成し、用語は新聞記事や専門記事等をデータベース化し、統計・言語学的手法で重要用語を抽出しました。さらに約3千名のアンケートの結果を踏まえた上で、さまざまな専門領域の専門家と協議を重ね、用語の解説と具体的な言い換えを提案しています。また、データを基に一般と専門家で捉え方が違う用語の解説を加えるなど、定期的な改訂を目指しています。

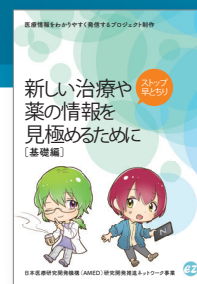


## 2 教育資料・一般向けのリーフレット作成

教育資料

手引きを基とした教育資料には、研究者向けの動画と一般向けのリーフレットがあります。動画は2種類あり、一つはキャラクターを用いたアニメーションを使い、チェックリスト「基礎編」「実践編」を紹介しています。もう一つは、特に注意すべき用語を専門家の講義形式で解説しています。

一般向けリーフレットは、医学系研究の記事を発信する可能性はあるが医療専門ではないメディアなどを対象としたもので、医学系研究を取り上げる際に最低限知っておいてほしいことをまとめています。



## 3 ワークショップ開催と患者・市民参画

普及啓発

普及・啓発として手引きを用いたワークショップを開催しています。ワークショップでは実際に手引きを用いて読みにくいプレスリリースを改善し、小グループで話し合うことでわかりやすい発信の実践につなげます。

また、手引きの作成・改訂は患者・市民参画 (PPI: Patient and Public Involvement) の理念に基づき、一般の方とグループディスカッションを行い、その内容を反映させています。

教育機関等でのワークショップ開催のご相談は <https://ez2understand.ifi.u-tokyo.ac.jp/contact/> からお願いします。

